

国土数值情報（海岸施設・感潮限界）

製品仕様書

第 1.1 版

平成 23 年 3 月

国土交通省国土計画局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2010 年 3 月	初版
第 1.1 版	2011 年 3 月	旧フォーマット（統一フォーマット）から GML 形式への変換作業に伴い、全体の見直しを実施

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 目的.....	1
1.3 適用範囲.....	1
1.4 引用規格.....	2
1.5 用語と定義.....	2
1.6 略語.....	2
1.7 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 沿岸域パッケージ.....	5
4.1.3 海岸施設・感潮限界パッケージ.....	6
4.1.4 共通パッケージ.....	13
4.2 空間スキーマプロファイル.....	13
4.3 時間スキーマプロファイル.....	13
5 参照系.....	13
5.1 座標参照系.....	13
5.2 時間参照系.....	13
6 データ品質.....	14
7 データ製品配布.....	16
7.1 配布書式情報.....	16
7.2 配布媒体情報.....	16
8 メタデータ.....	17

付属資料

- 1 符号化仕様作成のためのタグ一覧
- 2 符号化仕様

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：
国土数値情報（海岸施設・感潮限界）製品仕様書 第 1.1 版
- 日付：2011 年 3 月 18 日
- 作成者：国土交通省 国土計画局 参事官室
- 言語：日本語
- 分野：大洋
- 文書書式：PDF

1.2 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、日本沿岸域の海岸利用施設（発電所、石油備蓄基地、貯木場、海浜公園等）、験潮場、感潮限界について、位置（点）等を整備したものである。海岸利用施設については、管理者や敷地面積等を、験潮場については、平均海面、大潮平均高潮面、大潮平均低潮面、既往最高潮位、既往最低潮位等を、感潮限界については、河口堰等の施設の有無、河口からの距離等を整備したものである。

1.3 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
平成 2 年度

1.4 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 平成 21 年 5 月

1.5 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土計画局 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudokeikaku/gis/guidance/index.html>

1.6 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.7 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（海岸施設・感潮限界）製品仕様書第 1.1 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（海岸施設・感潮限界）データ

■ 日付

2011 年 3 月 18 日

■ 問合せ先

国土交通省 国土計画局 参事官室

電話 : 03-5253-8111 FAX : 03-5253-1569

Email : nsdijp@mlit.go.jp

■ 地理記述

全国

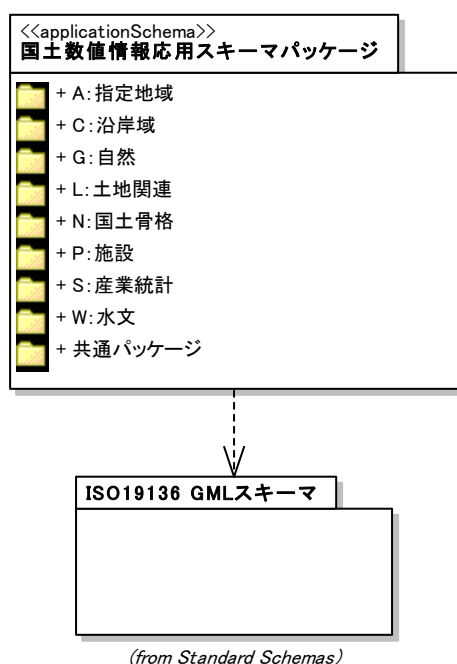
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

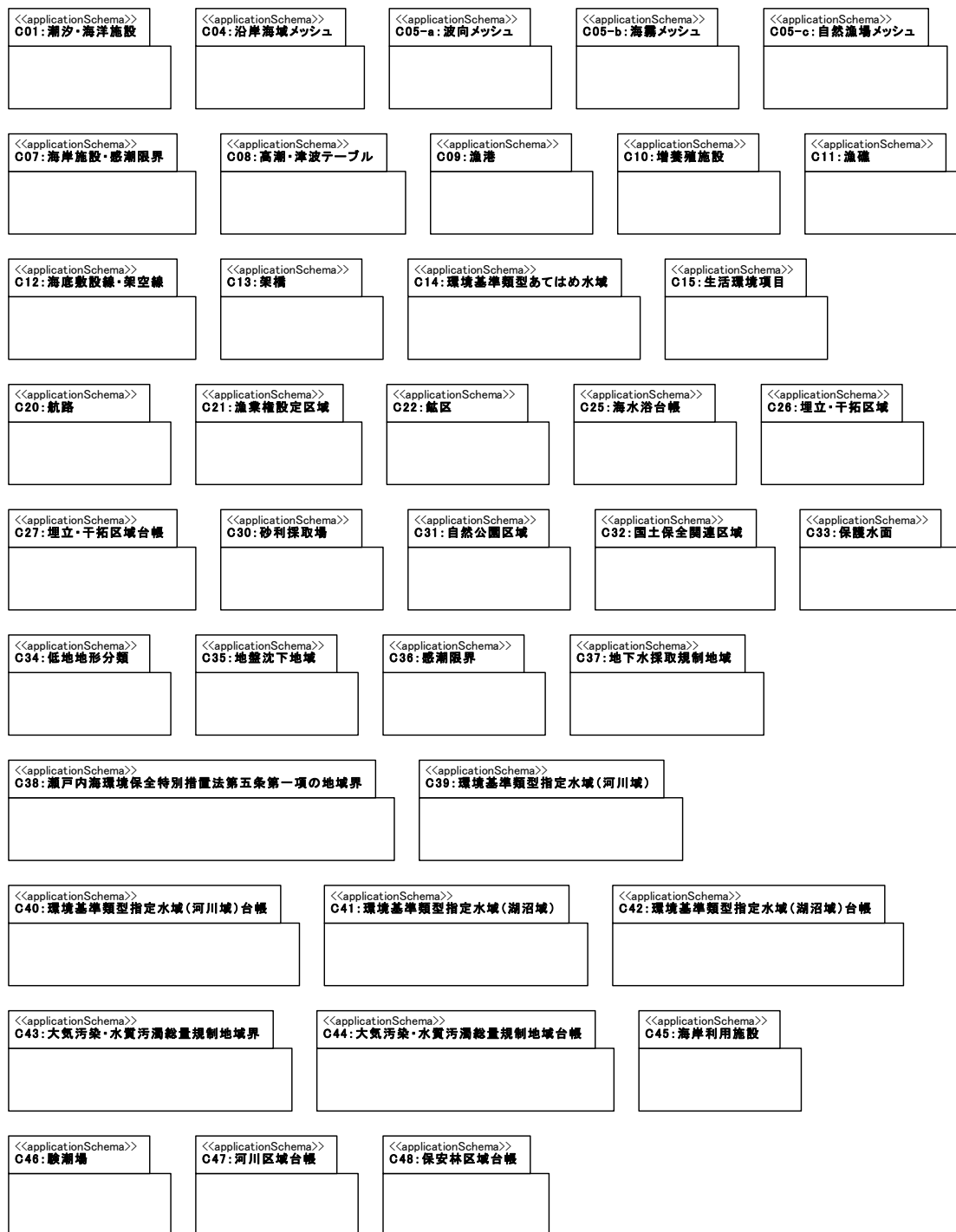
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 沿岸域パッケージ

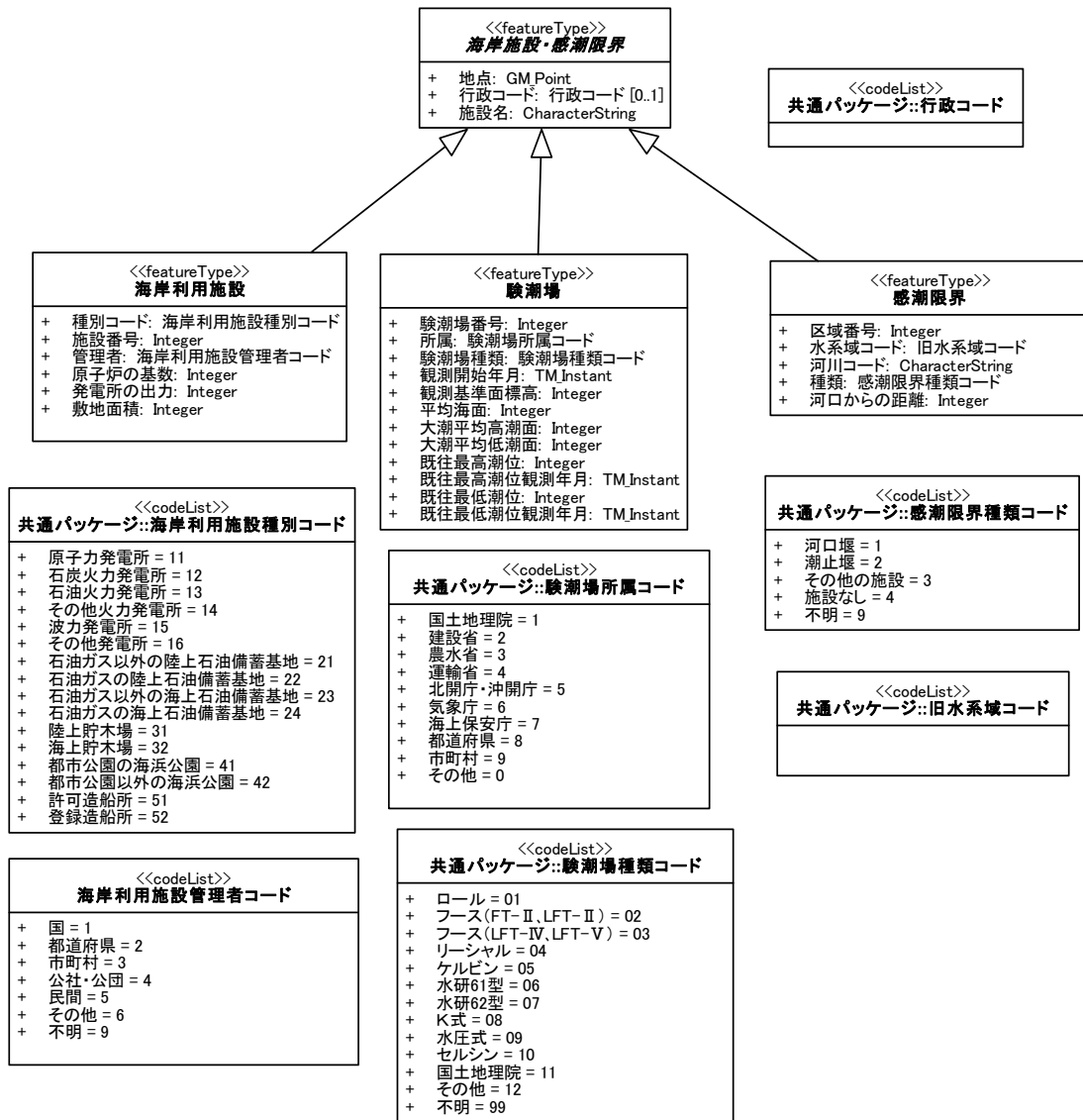
このパッケージは、沿岸域に関するパッケージをまとめたものである。



4.1.3 海岸施設・感潮限界パッケージ

このパッケージは、海岸施設・感潮限界に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

海岸施設・感潮限界

日本沿岸域の海岸利用施設（発電所、石油備蓄基地、貯木場、海浜公園等）、験潮場、感潮限界について、位置（点）等を整備したものである。海岸利用施設については、管理者や敷地面積等を、験潮場については、平均海面、大潮平均高潮面、大潮平均低潮面、既往最高潮位、既往最低潮位等を、感潮限界については、河口堰等の施設の有無、河口からの距離等を整備したものである。

原典資料を次に示す。

2万5千分の1地形図（国土地理院）、海岸利用施設位置図、河川区域図、公共施設台帳データ

上位クラス：

抽象/具象区分：抽象

属性

地点：GM_Point

海岸施設・感潮限界の位置。

行政コード[0..1]：行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる、行政区を特定するためのコード。

JIS規格（JIS X 0401, JIS X 0402）に準拠する。

■ 定義域

JIS規格が定める5桁のコード値。

施設名：CharacterStrings

海岸利用施設

上位クラス：海岸施設・感潮限界

抽象/具象区分：具象

属性

種別コード：海岸利用施設種別コード

■ 定義域

コード	対応する内容
11	原子力発電所
12	石炭火力発電所
13	石油火力発電所
14	その他の火力発電所
15	波力発電所
16	その他発電所
21	石油ガス以外の陸上石油備蓄基地
22	石油ガスの陸上石油備蓄基地
23	石油ガス以外の海上石油備蓄基地
24	石油ガスの海上石油備蓄基地
31	陸上貯木場
32	海上貯木場
41	都市公園の海浜公園
42	都市公園以外の海浜公園
51	許可造船所
52	登録造船所

施設番号：Integer

管理者：海岸利用施設管理者コード

海岸施設を管理する組織。

■ 定義域

コード	対応する内容
1	国
2	都道府県
3	市町村
4	公社・公団
5	民間
6	その他
9	不明

原子炉の基数 : Integer

造船所の場合はドック数。
不明の場合、「99」とする。

発電所の出力 : Integer

単位は「kw」とする。
石油備蓄基地の場合、「kl」とする。
造船所の場合、最大造修可能トン数とする。
不明の場合、「9999999」とする。

敷地面積 : Integer

単位は「a (アール)」とする。
不明の場合、「999999」とする。

験潮場

上位クラス : 海岸施設・感潮限界

抽象/具象区分 : 具象

属性

験潮場番号 : Integer

所属 : 験潮場所属コード

当該験潮場が属している組織。

■ 定義域

コード	対応する内容
1	国土地理院
2	建設省
3	農水省
4	運輸省
5	北開庁・沖開庁
6	気象庁
7	海上保安庁
8	都道府県

9	市町村
0	その他

験潮儀の種類：験潮場種類コード

験潮儀の種類による区別。

■ 定義域

コード	対応する内容
01	ロール
02	フース (FT-II, LFT-II)
03	フース (LFT-IV, LFT-V)
04	リシャル
05	ケルビン
06	水研 61 型
07	水研 62 型
08	K 式
09	水圧式
10	セルシン
11	GSI(国土地理院)
12	その他
99	不明

観測開始年月：TM_Instant

潮位を観測し始めた時期。

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記述する。

不明の場合、「99999999」とする。

観測基準面標高：Integer

単位を「m」とする。

不明の場合、「99999」とする。

平均海面：Integer

単位を「m」とする。

不明の場合、「99999」とする。

大潮平均高潮面：Integer

単位を「m」とする。

不明の場合、「99999」とする。

大潮平均低潮面：Integer

単位を「m」とする。

不明の場合、「99999」とする。

既往最高潮位：Integer

単位を「m」とする。

不明の場合、「99999」とする。

既往最高潮位観測年月日：TM_Instant

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記述する。

不明の場合、「99999999」とする。

既往最低潮位：Integer

単位を「m」とする。

不明の場合、「99999」とする。

既往最低潮位観測年月日：TM_Instant

西暦で、4桁の「年」、2桁の「月」及び「日」を記述する。

不明の場合、「99999999」とする。

感潮限界

上位クラス：海岸施設・感潮限界

抽象/具象区分：抽象

属性

区域番号：Integer

河川区域位置ファイルの区域番号。

水系域コード：旧水系域コード

水系域を一意に識別するための番号。

管轄地建番号（2桁）＋水系域番号（3桁）。

・管轄地建番号について

北海道開発局:81, 東北地方建設局:82, 関東地方建設局:83, 北陸地方建設局:84, 中部地方建設局:85, 近畿地方建設局:86, 中国地方建設局:87, 四国地方建設局:88, 九州地方建設局:89, 沖縄開発局:90

・水系域番号について

全国通しの一連番号で, 設定基準は以下のとおり。

一級河川を含む単一水系域:001~199, 主要二級河川を含む単一水系域:201~499, 複合水系域:501~949, 流出口のない水系域:951~999, 対象外地域:000

※単一水系域とは, 単独の河口部を有する河川に対応させて設定した水系域とし, 複合水系域とは, 地域的にひとまとめにできる幾つかの河口部を有する河川の流域全体として設定した水系域とする。

河川コード : CharacterString

設定基準は原則で以下のとおり。対応する河川コードがない場合は”000”とする。

河川の次数	1次河川	2次河川	3次河川
一級河川および主要二級河川	001~009	011~099	111~999
その他複合水系域	001~029	031~199	201~999

※河川の次数について

- ・本流より分流し海に直接そそぐ流路は全て1次河川とする。
- ・本流より分流し再び流路及び本流より直接分かれる支流を2次河川とする。
- ・2次河川より直接分かれる支流を3次河川とし, それらがさらに分かれる支流は全て3次河川とする。
- ・河川の名称が途中で変わる時は, 本流, 支流にかかわらず次数も変わるものとする。

種類 : 感潮限界種類コード

感潮限界の分類の区別。

■ 定義域

コード	対応する内容
1	河口堰
2	潮止堰
3	その他の施設
4	施設なし
9	不明

河川からの距離 : Integer

単位は「km」とする。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめたものである。

コードリスト等については、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子： JGD2000 / (B, L)又は TD / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子： GC / JST

6 データ品質

この品質要求は、国土数値情報の旧フォーマット（統一フォーマット）のデータから変換する JPGIS 第 2.1 版 附属書 12（規定）地理マーク付け言語（GML）に準拠するデータに適用するものである。

ここでは、旧フォーマットのデータと GML 準拠のデータとの差異（完全性）及び応用スキーマに対する適合性（論理一貫性）について品質を要求する。

なお、今後このデータを新たに作成又は更新する際には、完全性及び論理一貫性の品質要求に加え、位置正確度、時間正確度及び主題正確度に関する品質要求を必要に応じ追加する。

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合と、旧フォーマットのデータとの比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。ただし、旧フォーマットのデータに存在する“図形余り”及び“台帳データ余り”のインスタンスについて比較対象から除外する。 次の場合エラーとする。 ・対応関係がとれない地物インスタンスがデータ集合内に存在する場合。 ・データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。 誤率（％）＝（過剰なデータ数／旧フォーマットに含まれる比較対象インスタンス総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。計算した誤率と適合品質水準とを比較し、次の式に基づき可否を判定する。 誤率＝0％であれば“合格”，誤率＞0％であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0％

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合と、旧フォーマットのデータとの比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。ただし、旧フォーマットのデータに存在する“図形余り”及び“台帳データ余り”のインスタンスについては比較対象から除外する。 次の場合エラーとする。 ・旧フォーマットのデータと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 誤率（％）＝（漏れのデータ数／旧フォーマットに含まれる比較対象のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。計算した誤率と適合品質水準を比較し、次の式に基づき可否を判定する。 誤率＝0％であれば“合格”，誤率＞0％であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0％

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくないエラー箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。 誤率（%）=（XML 文書の構文エラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	データ集合が XML の文法（構造）に適合しているか、検査プログラム（XML パーサー）によって全数検査する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	GML 標準スキーマ（XMLSchema）及び GML 応用スキーマ（XMLSchema）に対する、データ集合に存在する矛盾（エラー）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。 XMLSchema に対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。 ■地物に関する検査項目 地物インスタンス、地物属性及び地物関連の型が、応用スキーマが規定する地物型と一致しない場合、エラーとする。 ■幾何要素（空間オブジェクト）に関する検査項目 データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。 誤率（%）=（XMLSchema に対するエラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	データ集合が XMLSchema と矛盾しないか、検査プログラム（バリデータ）によって全数検査する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合
データ品質評価尺度	応用スキーマが規定する定義域に対する、データ集合に存在する定義域外の値をもつ地物属性インスタンスの割合（誤率）を計算する。 誤率（%）=（地物属性の定義域に対するエラー数／データ集合のインスタンス総数）×100
データ品質評価手法	検査プログラムによって全数検査を実施する。 誤率=0% であれば“合格”，誤率>0% であれば“不合格”とする。
適合品質水準	誤率：0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報 (海岸施設・感潮限界) 応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間 : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞 : ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数值情報（海岸施設・感潮限界）製品仕様書 第 1.1 版

付属資料

1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
沿岸域					
C07: 海岸施設・感潮限界					
海岸施設・感潮限界				CoastFacility_TidalLimit	coast facility and tidal limit
	地点	GM_Point		position	position
	行政コード	行政コード		administrativeAreaCode	administrative area code
	施設名	CharacterString		facilityName	facility name
海岸利用施設				CoastFacility	coast facility
	種別コード	海岸利用施設種別コード		typeCode	type code
	施設番号	Integer		facilityNumber	facility number
	管理者	海岸利用施設管理者コード		administrator	administrator
	原子炉の基数	Integer		numberOfNuclearReactors	number of nuclear reactors
	発電所の出力	Integer		outputOfPowerPlant	output of power plant
	敷地面積	Integer		Area	area
験潮場				TidalStation	tidal station
	験潮場番号	Integer		tidalStationNumber	tidal station number
	所属	験潮場所属コード		belonging	belonging
	験潮場種類	験潮場種類コード		tidalStationType	tidal station type
	観測開始年月	TM_Instant		firstYearOfObservation	first year of observation

		クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
			観測基準面標高	Integer	elevationOfObservationDatum	elevation of observation datum
			平均海面	Integer	meanSeaHeight	mean sea height
			大潮平均高潮面	Integer	springTideMeanHighWaterLevel	spring tide mean high water level
			大潮平均低潮面	Integer	springTideMeanLowWaterLevel	spring tide mean low water level
			既往最高潮位	Integer	previousHighestSeaLevel	previous highest sea level
			既往最高潮位観測 年月	TM_Instant	previousHighSeaLevelObservation Date	previous highest sea level observation date
			既往最低潮位	Integer	previousLowestSeaLevel	previous lowest sea level
			既往最低潮位観測 年月	TM_Instant	previousLowSeaLevelObservation Date	previous lowest sea level observation date
		感潮限界			TidalLimit	tidal limit
			区域番号	Integer	areaNumber	area number
			水系域コード	水系域コード	waterSystemCode	water system code
			河川コード	CharacterString	riverCode	river code
			種類	感潮限界種類コード	type	type
			河口からの距離	Integer	distanceFromMouthOfRiver	distance from mouth of a river

2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="1.1">
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml.x
sd"/>
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd"/>
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML"/>
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue"/>
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="TidalLimit" type="ksj:TidalLimitType"
substitutionGroup="ksj:CoastFacility_TidalLimit"/>
  <xsd:complexType name="TidalLimitType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>感潮限界</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
    <xsd:complexContent>
      <xsd:extension base="ksj:CoastFacility_TidalLimitType">
        <xsd:sequence>
```



```

<xsd:element name="areaNumber" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>区域番号</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="waterSystemCode" type="gml:CodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>水系域コード</xsd:documentation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:defaultCodeSpace>OldWaterSystemCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="riverCode" type="xsd:string">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>河川コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="type" type="ksj:TidalLimitTypeCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>種類</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="distanceFromMouthOfRiver" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>河口からの距離</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="TidalLimitPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:TidalLimit"/>
  </xsd:sequence>

```

```

<xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
<xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="TidalLimitMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:TidalLimit" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="CoastFacility" type="ksj:CoastFacilityType"
substitutionGroup="ksj:CoastFacility_TidalLimit" />
<xsd:complexType name="CoastFacilityType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>海岸利用施設</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="ksj:CoastFacility_TidalLimitType">
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="typeCode" type="ksj:CoastFacilityTypeCodeType">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>種別コード</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="facilityNumber" type="xsd:integer">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>施設番号</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="administrator" type="ksj:CoastFacilityAdministratorCodeType">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>管理者</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="numberOfNuclearReactors" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>原子炉の基数</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="outputOfPowerPlant" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>発電所の出力</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="area" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>敷地面積</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="CoastFacilityPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:CoastFacility" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="CoastFacilityMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:CoastFacility" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>

```

```

</xsd:complexType>
<xsd:element name="CoastFacility_TidalLimit" type="ksj:CoastFacility_TidalLimitType"
abstract="true" substitutionGroup="gml:AbstractFeature" />
<xsd:complexType name="CoastFacility_TidalLimitType" abstract="true">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>海岸施設・感潮限界</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="position" type="gml:PointPropertyType">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>地点</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="administrativeAreaCode" type="gml:CodeType" minOccurs="0">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>行政コード</xsd:documentation>
            <xsd:appinfo>
              <gml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</gml:defaultCodeSpace>
            </xsd:appinfo>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="facilityName" type="xsd:string">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>施設名</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="CoastFacility_TidalLimitPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:CoastFacility_TidalLimit" />
  </xsd:sequence>

```

```

<xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
<xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="CoastFacility_TidalLimitMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:CoastFacility_TidalLimit" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="TidalStation" type="ksj:TidalStationType"
substitutionGroup="ksj:CoastFacility_TidalLimit" />
<xsd:complexType name="TidalStationType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>験潮場</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="ksj:CoastFacility_TidalLimitType">
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="tidalStationNumber" type="xsd:integer">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>験潮場番号</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="belonging" type="ksj:TidalStationBelongingCodeType">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>所属</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="tidalStationType" type="ksj:TidalStationTypeCodeType">
          <xsd:annotation>
            <xsd:documentation>験潮場種類</xsd:documentation>
          </xsd:annotation>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="firstYearOfObservation" type="gml:TimeInstantPropertyType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>觀測開始年月</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="elevationOfObservationDatum" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>觀測基準面標高</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="meanSeaHeight" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>平均海面</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="springTideMeanHighWaterLevel" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>大潮平均高潮面</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="springTideMeanLowWaterLevel" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>大潮平均低潮面</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="previousHighestSeaLevel" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>既往最高潮位</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="previousHighSeaLevelObservationDate"
type="gml:TimeInstantPropertyType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>既往最高潮位觀測年月</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="previousLowestSeaLevel" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>既往最低潮位</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="previousLowSeaLevelObservationDate"
type="gml:TimeInstantPropertyType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>既往最低潮位観測年月</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="TidalStationPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:TidalStation" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="TidalStationMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:TidalStation" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:simpleType name="CoastFacilityAdministratorCodeType">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>海岸利用施設管理者コード</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>

```

```

</xsd:annotation>
<xsd:union memberTypes="ksj:CoastFacilityAdministratorCodeEnumType
ksj:CoastFacilityAdministratorCodeOtherType" />
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CoastFacilityAdministratorCodeEnumType">
<xsd:restriction base="xsd:string">
<xsd:enumeration value="1">
<xsd:annotation>
<xsd:appinfo>
<gml:description>国</gml:description>
</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="2">
<xsd:annotation>
<xsd:appinfo>
<gml:description>都道府県</gml:description>
</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="3">
<xsd:annotation>
<xsd:appinfo>
<gml:description>市町村</gml:description>
</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="4">
<xsd:annotation>
<xsd:appinfo>
<gml:description>公社・公団</gml:description>
</xsd:appinfo>
</xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="5">
<xsd:annotation>

```



```

    <xsd:appinfo>
      <gml:description>民間</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="6">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>その他</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
<xsd:enumeration value="9">
  <xsd:annotation>
    <xsd:appinfo>
      <gml:description>不明</gml:description>
    </xsd:appinfo>
  </xsd:annotation>
</xsd:enumeration>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="CoastFacilityAdministratorCodeOtherType">
  <xsd:restriction base="xsd:string">
    <xsd:pattern value="other: ¥w{2,}" />
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
</xsd:schema>

```